

想像をカタチにする  
**KOMURA**

電動昇降座いす  
**独立宣言<sup>®</sup>**  
**くるり**  
品番：DSKR  
**取扱説明書**






保証書つき

保管用



- 本製品の機能を十分ご理解いただき、安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は大切に保管し、必要なときお読みください。

# 安全上のご注意 必ずお守りください。

 <b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下記の人がひとりで使用する時は、必ず周囲の人が注意・介護する (1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)お子様 事故や体調不良を起こすおそれがあります。</li> <li>● 周囲に人がいたり、物がある場所では十分に注意する 昇降時・回転時、いすがまわりの人に当たってけがをさせたり、すわっている人がまわりの物に当たってけがをするおそれがあります。 特に下降時は、座板の下に何も無いことをご確認ください。</li> <li>● 使用時は、必ず脚を取り付ける 転倒し、けがをするおそれがあります。</li> </ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不安定な場所で使用しない 転倒し、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 踏み台にしたり、肘掛けに座るなど、目的以外の使いかたをしない 足をすべらせたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 許容荷重（80kg）以上の体重の人は使用しない いすが破損・故障し、けがをするおそれがあります。</li> <li>● ひざに座らせたり等、ふたり以上で座らない 転倒したり、いすから落ちるなど、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 座板下降時、座板の下に足などを入れない 座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 座板の端に座らない</li> <li>● 片側だけに衝撃や負担をかけない 座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 座部が回る状態での上下動・立ち座りはしない 座部が回転して、すべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 勢いよく座部を回転させない 座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。</li> <li>● いすが飛び乗ったり、故意に勢いをつけて座ったりしない いすが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。</li> <li>● お子様を本体の上で遊ばせたり、背もたれや肘掛けの上に乗ったり座ったりさせない いすから落ちたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。</li> <li>● いすを持ち上げて運ぶ際は、2人以上で行い、必要以上の衝撃を与えない いすが破損し、けがをするおそれがあります。</li> </ul>
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分解・修理・改造は絶対にしない 発火したり、異常動作してけがをするおそれがあります。</li> </ul>
 指に注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昇降時や移動時、隙間（特に背もたれと本体の隙間）に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 座板の回転時、可動部分に指などを入れない 指などはさみ、けがをするおそれがあります。</li> </ul>

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

■説明内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

	<b>警告</b>	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
	<b>注意</b>	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

	気をつけていただきたい「 <b>注意喚起</b> 」内容を説明しています。		してはいけない「 <b>禁止</b> 」内容を説明しています。		必ず実行していただく「 <b>強制</b> 」内容を説明しています。
--	---------------------------------------	--	---------------------------------	--	------------------------------------

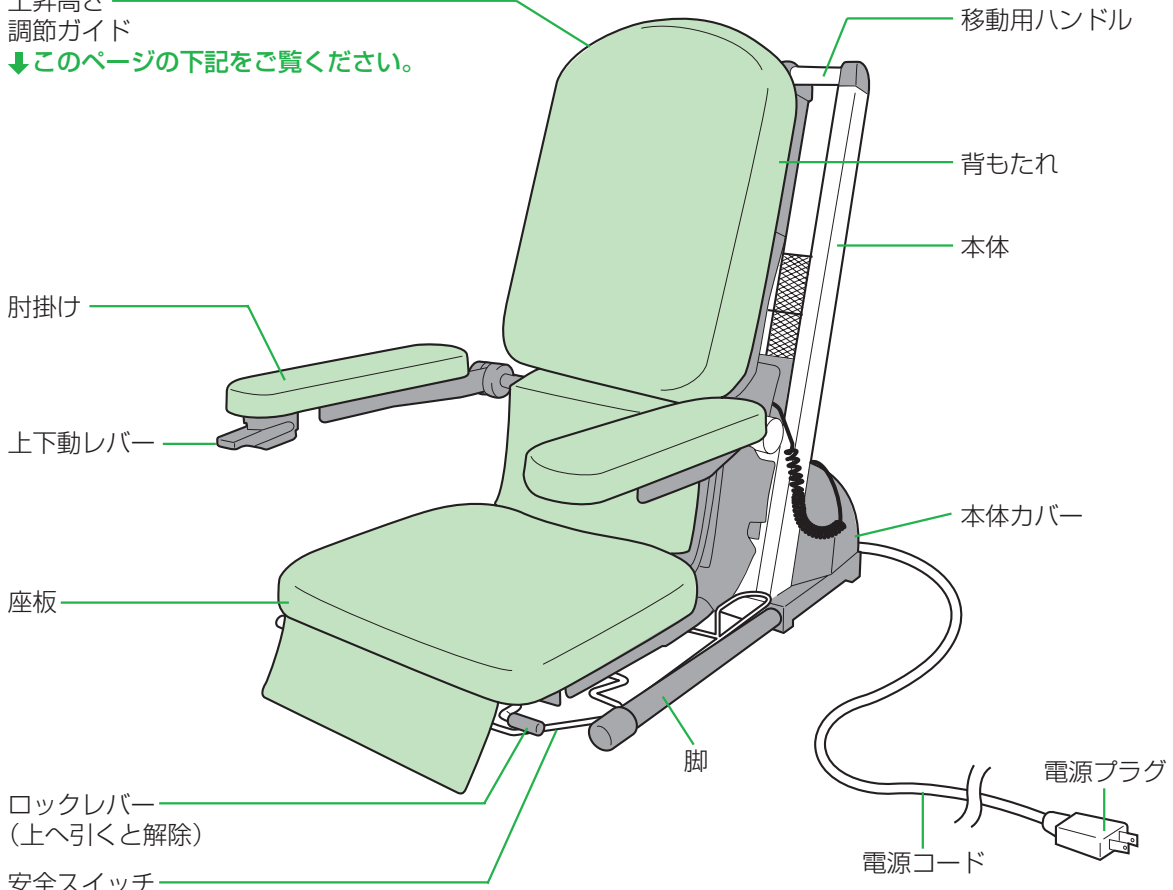
**注意**

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 屋外や高温・多湿な場所で使用・保管しない 感電および故障の原因になります。</li> <li>● 火気を近づけない 発火のおそれがあります。</li> <li>● 人が座ったままいすを移動させない 転倒・衝突などにより、けがをするおそれがあります。</li> <li>● 交流100V以外では使用しない 火災や感電の原因になります。</li> <li>● 2分以上の連続運転はしない 故障の原因になります。 連続運転が2分以上におよんだ時は、10分以上休止させてください。</li> <li>● 電源プラグにゴミ・水分を付着させない 感電やショート、発火のおそれがあります。</li> <li>● 電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない 火災や感電の原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグは、確実に最後まで差し込む ショートや発火のおそれがあります。</li> <li>● 濡れた手で電源プラグを持たない 感電のおそれがあります。</li> <li>● 濡れた手で中継プラグを持たない ショートや異常動作のおそれがあります。</li> </ul>
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動かない場合や、異常を感じたときは使用を中止し、すぐに電源プラグをコンセントから抜く 感電や発火のおそれがあります。 ただちに点検修理を依頼してください。</li> <li>● お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電ややけどのおそれがあります。</li> <li>● 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</li> <li>● 電源プラグをコンセントから抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜く 感電やショート、発火のおそれがあります。</li> </ul>

# 各部のなまえ

上昇高さ  
調節ガイド

↓このページの下記をご覧ください。



## 仕様

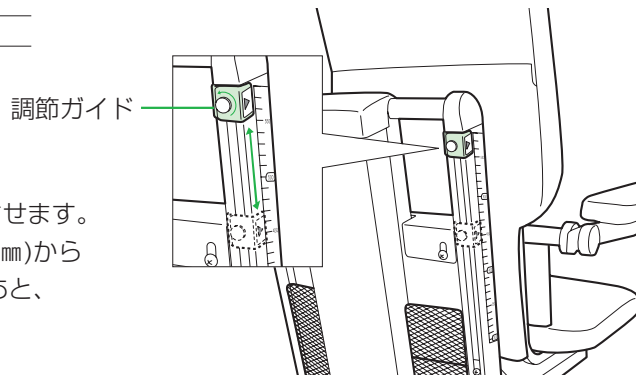
サイズ	幅580(580~640)×奥行896 ×高さ846(846~1256)mm
重量	45kg
最大許容荷重	80kg
最大ストローク	410mm(座面高さ160~570mm)
座部回転角度	左右各90度
入力電圧	AC100V 50/60Hz (コード長3m)
昇降速度	18mm/sec (電動上下昇降)
定格消費電力	70W
ヒューズ	125V 5A
定格時間	2分

## 品質表示

機構部	金属 (鋼・アルミニウム合金)
背もたれ部	合板
肘掛け部	合板
座部	合板、脚部 金属 (鋼)
カバー	ABS樹脂・ポリスチレン
表面加工	金属部 メラミン樹脂塗装
張り材	ポリ塩化ビニル
クッション材	ウレタンフォーム

## 上昇高さの調節

- 上昇時の最高位置を調節できます。
- 本体右側のうしろにある調節ガイドを上下させます。白いツマミを回してゆるめ、赤い矢印を570(mm)から300(mm)の間で合わせてください。合わせたあと、白いツマミを締めてください。この数値は床面から座面までの高さです。



# こんなときは…

## 座板が上下しないとき

- 電源プラグが抜けていませんか？
- 下降しない 座板裏の安全スイッチが働いていませんか？  
→座板の下に足や物などが無いことを確認してから、上下動レバーを操作してください。
- コネクターを接続していますか？
- 上昇しない 上昇高さの調節が適切ですか？  
→調節ガイドを再調整してください。

### 点検後、なお異常があったら

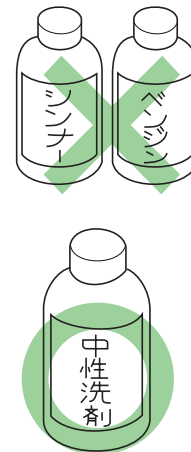
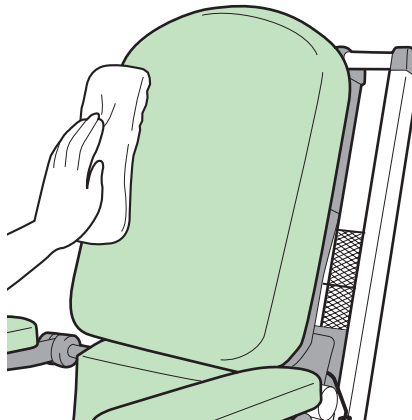
ただちに使用を中止し、事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。

## 座板の動く速さが遅いとき

- 周囲温度が低いときに使用した場合、座板の動く速さが遅くなる場合がありますが故障ではありません。  
座板に座らない状態で、1往復ほど昇降させれば、通常のスピードに戻ります。

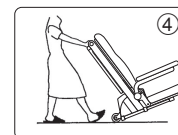
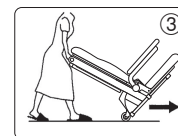
## お手入れのしかた

- 水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。
- ベンジン・シンナー・ワックス・化学ぞうきんなどで拭いたり、たわしでこすったりしないでください。
- お茶やコーヒーなどをこぼしたときは、乾かないうちによく拭きとってください。



## 移動するとき

- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②移動用ハンドルを両手で持ち、本体カバーに足を掛けて、いすを手前にかたむけてください。
- ③車輪が床に接地したことを確認し、いすを前に移動させてください。
- ④本体カバーに足を掛けながら、ゆっくりいすをおろしてください。



●いすをかたむける、または床におろす時は、**本体カバーに“しっかり”足を掛ける。**  
足やものがはさまれてけがをしたり破損するおそれがあります。

# 使いかた

## 電源コードを接続する。

- 電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込んでください。

### 座る

この時、ロックレバーには触れないでください。

※座部は左右各90度の回転位置と正面以外では、固定できません。回転しないことを確かめてから座ってください。

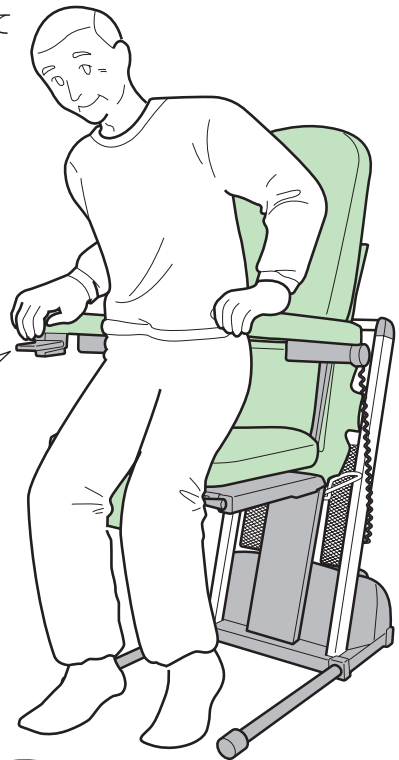
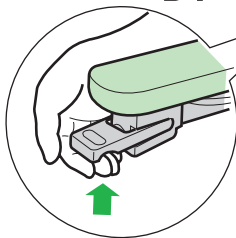
#### 警告

- 座部がまわる状態での上下動・立ち座りはしない  
座部が回転して、すべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。

1

### 上下動レバーを上へ引く。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ引き（指を離せば止まります）、座板を座りやすい位置まで上げておきます。



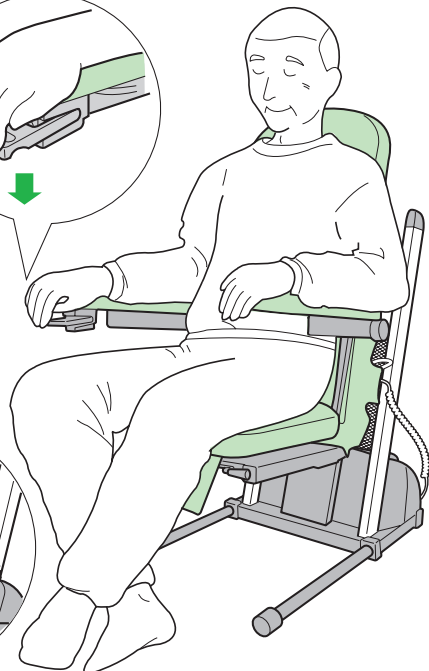
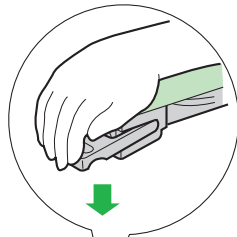
2

### 腰をおろす。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰をおろします。
- 足腰に負担をかけることなく座板に腰をおろすことができます。

#### 警告

- 座板の端に座らない
- 片側だけに衝撃や負担をかけない  
座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。



3

### 上下動レバーを下へ押す。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを下へ押し続け、（指を離せば止まります）座板をお好みの高さまで、おろしてください。
- 座板は床面まで下がると自動的に止まります。

#### 注意

- 座板下降時、座板の下に足などを入れない  
座板と脚や床の間にはさまれて、けがをするおそれがあります。



## 立つ

この時、ロックレバーには触れないでください。

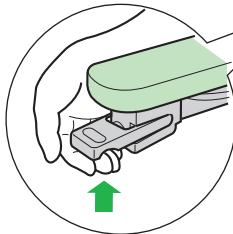
### 警告

- 座部がまわる状態での上下動・立ち座りはしない  
座部が回転して、すべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。

# 1

## 上下動レバーを上へ引く。

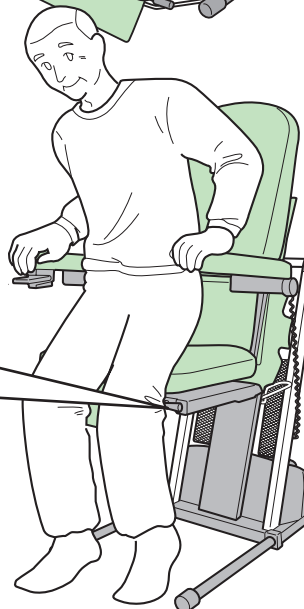
- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ引き、座板を立ちやすい位置まで上げます。



# 2

## 腰を上げる。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰を上げます。

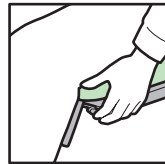


## 回転

# 1

## ロックレバーを上へ引く。

- ロックレバーは左右にあり、どちらでも操作できます。



# 2

## 体ごと座部を回転させる。

- 回転させたあとは、必ずロックレバーから手を離し、ロックされていることを確認してください。  
※座板は左右各90度の回転位置と正面以外では固定できません。  
※ロックレバーを上側へ引いても回転しないときは座部を左右に軽く揺らしてください。



### 警告

- 座板の端に座らない
- 片側だけに衝撃や負担をかけない
- 勢いよく座部を回転させない  
座板からすべり落ちたり転倒して、けがをするおそれがあります。

### 警告

- 下記の人がひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する  
(1)お年寄 (2)体の不自由な人 (3)お子様  
事故や体調不良を起こすおそれがあります。